

大洲病院ニュース

OZU CITY HOSPITAL NEWS

発行：市立大洲病院

編集：広報委員会

〒795-8501

大洲市西大洲甲570番地

TEL0893-24-2151

FAX0893-24-0036

院内保育所「よつば」をご紹介します



「おはようございます」 今日もかわいいこどもの声がします。市立大洲病院に毎日通ってくるのは大人たちだけではありません。今年の4月から育児休業取得者の早期復帰や子育て中の職員の完全就業を促すとともに、勤務シフトの変更にも対応できるよう一時保育や夜間保育にも対応した院内保育所「よつば」を開設しましたが、その「よつば」に通ってきているこども達の声です。

院内保育所「よつば」は病院東側にあり、木造平屋建てで保育所としては小さなものですが、清潔感のあるやさしい建物に仕上がっております。初年度の入所者数はまだまだ少ないですが、年度途中の入所予定者や一時保育の利用者もでてきており、こども達は、毎日の保育所生活の中で、日々新しい体験をしながら、また、保育士の計画した季節ごとの行事などにも参加しながらすくすくと成長しています。

市立大洲病院では、現在、就業中の職員だけでなく、今後、就職を希望される方々にも安心して長く働ける職場として選ばれる病院になるよう努力いたします。

「よつば」での活動状況の写真をご覧ください。



市立大洲病院の理念

患者様に信頼される良質で安全・安心な医療を提供し、地域社会に貢献します。

〈第24号の主な内容〉

- 院内保育所「よつば」 1 P
- 市民公開講座のご案内 2 P
- 院内蕎麦打ち体験イベント 2 P
- 家庭でできる食中毒予防 3 P

- 杖の種類について 3 P
- 診療体制のお知らせ 4 P
- 認知症看護認定看護師の紹介 4 P
- 救急病院適正利用のお願い 4 P

市立大洲病院公式ホームページ

<http://www.ozuch.jp/>

市民公開講座のご案内

～一緒に考えよう生活習慣病対策～

市立大洲病院では、毎年、市民の皆様が気軽に参加できる糖尿病や高血圧などの生活習慣病対策の公開講座を開催しています。

今年の11月20日（日）には、糖尿病の公開講座を愛媛県糖尿病対策推進会議と八幡浜・大洲糖尿病チーム医療研修会との共催で大洲市総合福祉センターで実施することとなりました。

午前中に調理実習（無料ですが、定員30名で予約が必要です）。午後からは4階大ホールで糖尿病についての講演と相談会を行います（予約不用で定員180名です）。講演の休憩時には「おやつ」を配ります。市民の皆様の多数の参加をお待ちしております。



愛媛県糖尿病対策推進会議
市民公開講座
～一緒に考えよう生活習慣病対策～

場 所：大洲市総合福祉センター
開催日：平成28年11月20日（日）

プログラム

- 第9:30～12:30 調理実習 **予約者のみ 30名**
- 第12:00～ 受け付け開始
- 第12:00～12:45 相談会
市立大洲病院 職員が対応いたします！
- 第13:00～15:45 **糖尿病についての講演**
「糖尿病と歯周病」 久保 敬典 歯科医師 久保 奈知子 先生
「糖尿病とサルコペニア」 松山市民病院 理学療法士 中田 亮輔 先生
「糖尿病と認知症」 市立八幡浜総合病院 内科部長 酒井 武則 先生
- 第15:50～16:30 相談会

※普段聞けないこと、今更聞きたいことなど、お気軽にご相談下さい。
当日は、**血圧測定・血糖測定**などを実施します。

※休憩時に **おやつ** をお配りします。

※定員：180名程度
当日は混雑することが予想されますので、お乗り合わせにてお越しいただきますようお願い申し上げます。

市立大洲病院 電話：0893-24-2151 / FAX：0893-24-0036

栄養課（内線 182）：調理実習 に関すること
薬剤室（内線 174）：相談会・講演 に関すること

共催：愛媛県糖尿病対策推進会議／八幡浜・大洲 糖尿病チーム医療研修会

連絡先

市立大洲病院 ☎ 0893-24-2151 FAX 0893-24-0036
調理実習に関すること 栄養課 内線 182 / 相談会・講演に関すること 薬剤室 内線 174

院内 蕎麦打ち体験イベント

去る9月7日に当院の3階会議室にて給食委託会社AIMサービス㈱の協力を得て「蕎麦打ち体験イベント」を開催いたしました。

この日の昼食のお蕎麦は手打ちとのことで患者様・スタッフ一同楽しみにしていました。



① 蕎麦をこねてます



② 蕎麦を伸ばしてます



③ 蕎麦を切ってます



体験後のアンケートでは「とても美味しかった。」「退屈しのぎに見学してみたが、そばの作り方の難しさを体験できて良かったです。」等『参加して良かった!』との意見が多く患者様の入院中の良い刺激になり、「食」を楽しんでいただいてサービスの向上につながったと思います。

次回の企画・開催がスタッフ一同楽しみです。



～家庭でできる食中毒予防～

今年は特に例年になく残暑が厳しいようで、食中毒のリスクも増えてます。
御家庭で食中毒予防の対策が「厚生労働省」より啓蒙されていますので、ご紹介いたします。

ポイント1 食品の購入

- 肉、魚、野菜などの生鮮食品は新鮮な物を購入しましょう。

ポイント2 家庭での保存

- 冷蔵や冷凍の必要な食品は、持ち帰ったらすぐに冷蔵庫や冷凍庫に入れましょう。

ポイント3 下準備

- 台所を見渡してみましょ。ゴミは捨ててありますか？
タオルやふきんは清潔なものと交換してありますか？
せっけんは用意してありますか？ 調理台の上はかたづけ
て広く使えるようになっていませんか？
もう一度、チェックをしましょう。



ポイント4 調理

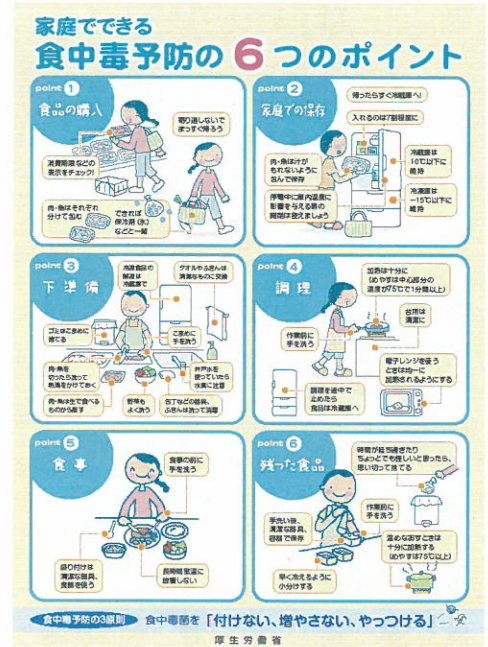
- 手を洗いましょう。
- 加熱して調理する食品は十分に加熱しましょう。

ポイント5 食事

- 調理前の食品や調理後の食品は、室温に長く放置してはいけません。
例えば、O157は室温でも15～20分で2倍に増えます。

ポイント6 残った食品

- 残った食品は早く冷えるように浅い容器に小分けして保存しましょう。
食中毒予防の三原則は、食中毒菌を「**付けない、増やさない、殺す**」です。「6つのポイント」はこの三原則から成っています。これらのポイントをきちんと行い、家庭から食中毒をなくしましょう。



リハビリ通信 ～シリーズ⑦～ 杖の種類

「これから杖を持とうか」、「今使っている杖は自分に合っているのか」という相談をよく伺うことがあります。杖と一概に言ってもその種類は多岐に渡ります。杖にもその人その人の能力に合わせた適応があり、今回は代表的な杖をいくつか紹介したいと思います。

T字杖

杖がなくても何とか歩けることができるが、安定性にやや欠ける方や杖を持たないと不安な方に向いている杖。地面との接触面は1点であり、極端な体重支持には不向き。折りたたみ式は折りたためないものと比較すると強度が劣る。杖は利き手に持つのではなく、痛みや筋力の弱い方の足とは反対側の手で杖を持つ。



多脚杖

支点が増えることで安定感が増す。T字杖で安定性に欠ける場合等に選択する。ただ、路面が平らでない、段差又は坂では逆に不安定となる。現在は支柱が前後に可動する杖もあり、これだと不整地な路面にも接地しやすく対応できる。



ロフトストランドクラッチ

T字杖にプラスして前腕部（肘よりも下）にカフと呼ばれるものが付いている。前腕で支える機能があるため、握力が弱い方向けである。つまりグリップを握る握力と前腕の力で支えるという構造であり、かなりの体重負荷でも安定している。



診療体制のお知らせ

診療科／曜日		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
内 科	1 診	谷 口	谷 口	谷 口	谷 口	谷 口
	2 診	中 西	中 西	休 診	中 西	休 診
	3 診	有 光	土居裕	今 峰	土居裕	今 峰
	4 診	休 診	休 診	徳本or小泉	休 診	小 幡
神 経 内 科	1 診	休 診	休 診	休 診	多田（月2回）	休 診
外 科	1 診	李	李	手術日 （予約のみ）	李	土居崇
	2 診	土居崇	土居崇		土居崇	李
整 形 外 科 ※初診の診療開始 は午前10時30分	初 診	堀 内	堀 内	田 口	手術日 （予約のみ）	田 口
	再 診	田 口	田 口	堀 内		堀 内
泌 尿 器 科 ※7	1 診	佐藤武	佐藤武	佐藤武	佐藤武	佐藤武
	2 診	佐藤秀	佐藤秀	佐藤秀	原	佐藤秀
眼 科 ※受付は午前10時まで	1 診	休 診	愛大医師	休 診	愛大医師	愛大医師
耳 鼻 咽 喉 科	1 診	山 田	休 診	西 田	休 診	上 甲
皮 膚 科	1 診	休 診	増 田	休 診	増 永	休 診

※1 診療受付時間は、午前8時15分から午前11時30分までです。

※2 緊急手術等により受付時間を繰り上げる場合があります。

※3 休診日は、土曜、日曜、祝日および年末年始です。

※4 担当医師の変更、休診の場合がありますので、事前に電話でお問い合わせください。

※5 内科の水曜日4診は、第2・第4が徳本医師、第1・第3・第5が小泉医師となります。

※6 神経内科の木曜日診療は、月2回のみの診察となります。

※7 泌尿器科の診療時間は透析・入院患者様対応のため、1診は9時45分、2診は10時45分からの診療開始となります。

市立大洲病院 ☎0893-24-2151

「認知症看護認定看護師」紹介

市立大洲病院では、今年度「認知症看護認定看護師」を養成しました。

認知症看護認定看護師

白石 澄恵

私は、愛媛県で6人目、南予で初めての認知症看護認定看護師になりました。

私の役割は、認知症をわずらっている方やそのご家族に対して、正しい知識を持って看護が行えるように、知識・技術の提供を行い、安全・安心な療養生活を送ることができるよう支援することです。また、本人だけでなく家族の相談にも応じ、予防・早期診断・治療の開始や退院後のその人らしい生活が過ごせるようなお手伝いをさせていただきたいと考えていますので、今後ともよろしく願っています。



救急病院適正利用のお願い

当地域の救急医療は、休日夜間急患センター（初期救急）と二次救急医療機関で実施していますが、救急機関を利用される軽症患者の増加は、スタッフの負担が増大し、最終的には地域の救急医療体制の崩壊につながる危険性を包含しています。

当地域の救急医療体制を皆さまで守るため、「かかりつけ医で診療時間内に受診する」「軽症等の場合は休日夜間急患センターを利用する」など救急病院の適正な利用をお願いいたします。

◆大洲喜多休日夜間急患センター

平日・土曜 午後8時～11時

日曜・祝日 午前9時～午後6時

☎23-1156